

なのはな だより

NANOHANA
DAYORI

老健ちば

No. **103**
October 2022



梨香苑：コロナに負けず頑張ろう「運動会」

INDEX

1

トレンドTOPIX 潮流
（ニュースウォッチ）

次々と押し寄せるリスク、着実に対策を！
医療・介護リスクマネジメントの「新潮流」

フォーカス「老健ちば」

千葉県老人保健施設協会研修委員長就任
佐倉ホワイエ事務長 香取文男

3

〈特集〉

ICT機器使用状況

5

〈研修会報告〉

自由気ままに

ペーパーブログ

私が大事にしている事

浦安せいの里 浦安ホテルホーム
介護福祉士 富田佑美



7

〈なのはなスマイル〉施設の笑顔紹介

● ロータスケアセンター

● フェルマータ船橋

〈老健ちばカレンダー〉

〈編集後記〉

<http://www.chiba-roken.jp/>

2022年10月20日 発行

● 発行者/一般社団法人 千葉県老人保健施設協会 ● 編集者/広報委員会

● 〒262-0042 千葉県千葉市花見川区花島町149-1 TEL:043-259-8435 FAX:043-259-8436

トレンド TOPIX 潮流

ちょうりゅう

患者や要介護者の命を預かる
医療・介護業界では、
様々なリスクマネジメントが
求められる。

ニ
ュ
ー
ス
ウ
オ
ツ
チ

次々と押し寄せるリスク、着実に対策を！ 医療・介護リスクマネジメントの「新潮流」

患者や要介護者の命を預かる医療・介護業界では、様々なリスクマネジメントが求められる。そのトレンドは時代によって変化し、常にアップデートが必要だ。最近では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う感染対策の強化や、コロナ禍特有のクレームへの対応などが不可欠になっている。

5つの課題

リスクマネジメントの「新潮流」まとめ

① 感染対策

2020年から流行が始まり、わずか数か月でパンデミックに発展した新型コロナウイルス感染症。今やどの病院・介護施設も、感染者が発生するリスクを抱えているのは間違いない。利用者と直に接する医療従事者や介護職員だけでなく、事務職員や清掃員など全職員に感染対策を徹底してもらおう体制づくりが大切になる。感染対策を怠ればリスクはさらに高まり、最悪の場合、クラスターの発生に見舞われかねない。

② 転倒リスクへの理解

転倒のリスクは、年齢を重ねるほど高

まる。患者や利用者の転倒事故が発生すると、病院・介護施設の過失ととらえられる傾向がある。だが転倒予防策を講じていても、老年症候群で一定の確率で転倒が発生し、必ずしもすべての転倒が施設側の過失とは位置付けられない。患者・利用者や家族に転倒予防の不確実性をあらかじめ理解してもらおうことが大切だ。

③ クレームへの対応

大半の医療・介護従事者は、クレームを受けた経験の有する。ところが、自施設でどんなクレーム対応を取っているのかを知らない職員は多いようだ。職員個々の対処に依存すれば、利用者や家族等との関係がこじれて法人全体の不信感に発展するだけでなく、職員の大量辞職につながりかねない。クレームに対して組織としてどのような手順で対応するか、あらかじめ定めておくことが肝要だ。

④ カスタマーハラスメント対策

介護サービス利用者からのハラスメントに悩む介護職員は少なくない。ハラスメントを受けたことのある職員の割合が高いサービスを見ると、介護老人福祉

施設、認知症対応型通所施設などの割合が高い。利用者の減少につながることを恐れて泣き寝入りするのはなく、組織としてサービスを拒否する判断基準などを事前に定めて対応することが求められる。

⑤ BCCP（事業継続計画）の策定

大規模災害が毎年のように発生し、被害を受ける医療機関や介護施設も後を絶たない。その対応策として、被災した際にいかに事業を継続・復興していくかを事前に計画するBCCPの策定が求められている。BCCPは被災時のスムーズな対応だけでなく、組織の考える力を高め、成長するツールにもなるはずだ。

（日経ヘルスケアNo.383より一部抜粋）



フォーカス 老健 ちば

千葉県老人保健施設協会 研修委員長就任



佐倉ホワイエ
事務長
香取 文男

この度、4月1日から研修委員長に就任しました香取文男と申します。佐倉市にある介護老人保健施設佐倉ホワイエで事務長をしております。

千葉県老人保健施設協会の研修委員としては6年目になりました。

私自身を振り返れば病院勤務が23年、特別養護老人ホームで14年、介護老人保健施設が6年と医療、福祉畑を歩んできました。

2019年12月初旬に初めて新型コロナウイルス感染症が確認されてから2年8ヶ月が経とうとしております。介護老人保健施設として当初、未知のウイルスにおびえながら感染予防対策はどの様にすればよいか暗中模索の手探り状態でした。

集団で直接集まる事が難しくなり、今まで会場開催で行ってきた研修会や研究事例発表会も開催出来ない状況が続き、2020年度の開催は「感染症研修」が会場での開催はできませんでしたが、他に予定していた13研修会は新型コロナウイルス感染症拡大で中止となりました。

研修委員として新型コロナウイルス感染症の発生当初から1年は、どの様に研修会を開催していくのが良いか各委員で悩み苦しみました。

zoom配信の会議や研修会が主流となり始めたことをキッカケに研修委員でzoomを扱う場合の会場探しと機材の確保、操作方法を専門の業者に指導を受け、やっと昨年からはzoom配信で研修会を開催するまでになりました。

zoom配信の研修会も2年目となる今年は、千葉県版研究事例発表会をハイブリット形式で12月の開催を予定しております。たくさんの方の演題を募集しておりますので、各施設の皆さんふるって参加して下さい。

この様に二歩二歩ではありますが、介護老人保健施設で頑張っている皆さんに

実りある研修会や研究事例発表会、最新の情報を伴った研修会、介護報酬改定で義務化された、感染症、リスクマネジメント、虐待防止等の研修会の開催、施設や職員の質の向上を図れる研修など、身になる研修会を皆さんのご要望、ご意見を取り入れながら開催していきたいと考えております。よろしくお願致します。

2022年度研修等予定表

No.	研修会名	開催月
1	新人及び基礎研修研修会	7月29日
2	リスクマネジメント(安全管理減産含め)	調整中
3	感染症研修	10月11日
4	老健が抱える多種多様な疾患・症状を学ぶ	12月中旬
5	研究事例発表大会	12月2日
6	CHASE・LIFEについての研修会	1月中旬
7	管理者研修会	2月中旬

千葉県老人保健施設協会からのお知らせ

「広報委員」を大募集!



●主な仕事内容

- 広報誌「なのはなだより」の原稿作成
(広報委員はその都度集まって、担当の割り振り等を話し合います)
- 研修委員のサポート(研修会のお手伝い)

●広報委員のやりがい

- 色々な施設の取材を通して、各施設の良い面を発信したり、吸収できる。
- 他施設の仲間(広報委員や研修委員)ができて、情報交換ができる。

自薦他薦問いません
是非ご応募ください。



電話 043-259-8435
千葉老健協会 事務局まで



電子カルテ

インカム

見守り
ケアシステム

ICT機器使用状況

前回、なのはなだより102号のアンケートにて、電子カルテとインカムと見守りケアシステムを選定しましたが、事前に当協会加盟施設の数施設のご意見を参考にこの3つを選定しました。その3つ全てを導入していた施設は、137施設中8施設で、全体の8.5%という結果でした。その内、超強化型・強化型の施設は8施設中5施設で62.5%と高い割合で超強化型・強化型施設が整備していた事が分かりました。

様々なICT機器がある中で、この3つを推奨している訳ではありませんが、今回の結果から超強化型・強化型施設はICT機器など新しい物を取り入れ、業務効率化を図ろうとされている傾向があるように感じました。



102号のアンケート結果でみると、千葉県はICT機器の導入についてはあまり進んでいない印象がありますが、購入にあたり、悩まれている施設も多いと思います。そこで実際に使用している施設の実用例を知る事で、導入を検討されている施設の参考になればと考えました。今回は以下に挙げた3つの機器を実際に使用している施設に、メリットやデメリットとその対策などを現場に即した観点で報告して頂きました。

電子カルテ

《なのはな館みさきの紹介》

(入所119床。サテライト型29床)

電子カルテは約15年前に導入しました。電子カルテの前にクラウドグループウェア「HotBiz」の使用を開始しました。職員間の連絡事項、車両や会議室などの予約、スケジュール管理をネット上で共有しました。「給与明細を事務へ取りに来てください。」等の連絡事項から、防災関連の連絡、勤務表がPDFで添付されてくる等、職員はパソコン操作ができる体制を整えました。

スタッフの中にはパソコン初心者もあり、キーボードやマウスの操作に苦労していました。事前に勉強会を開催し、対象者はキーボードやマウス操作の練習をしました。

現在使用している介護記録ソフトは「ケアカルテ」です。パソコンとiPadを使用し、利用者の状態を入力し、即時に共有が可能です。感染対策が必要な現在の状況下では必須です。

一部職種はサテライト型との兼務です。本館とサテライト型の利用者の状況は、電子カルテ上で確認が出来ます。

メリット

①介護記録ソフトが導入されているパソコンで館内どこでも入力ができる。紙面カルテ記載の順番待ちは当館では存在しません。

②入力されている内容は、即座に確認ができる。

館内でクラスター発生時にも、記録入力が

出来ている内容は、共有ができました。
③「〇〇って何時だったか？」など過去の事象が、キーワードで即座に検索できる。

デメリット

①パソコン操作に不慣れた職員は苦勞する。しかし毎日必ず操作するので、時間が解決します。

②停電時には利用できない。令和元年の台風時には、当館所在地の館山市では、長期間停電しました。停電時は手書きの書面で情報共有をしました。電子カルテのありがたみを再認識する出来事でした。停電解消時に、まとめて入力したのは大変でしたが、通電し、電子カルテが使える喜びの方が大きかったです。

この原稿は50歳代の職員が書いています。30歳代半ばで電子カルテ導入を経験しました。パソコンでの入力は問題なくできました。しかし、30歳代に経験出来て良かったと考えます。パソコンの変換機能に頼り、漢字が書けなくなっているのは、深刻ですが、あえてデメリットにはあげません。

今後、介護業界の人材不足はますます深刻化するでしょう。介護記録ソフトの活用による、業務効率化は必須です。



インカム

《はつらつリハビリセンターの紹介》 （入所80床 内認知専門棟40床）

はつらつリハビリセンターでは、5年前にインカムを12台購入しました。（1台1万9千円で無線許可を5年毎に更新する機種（写真①））
当施設の建物は横長の二階建構造なので施設全体的に無線通話可能です。

メリット

①効率的な情報共有
（利用者様の急変があった時、発信した情報を看介護・医師・事務まで共有ができ、事務員が救急要請等迅速な対応が可能）

②教育としての効果
（疑問や困っていることを発信した際、すぐに他部署からでも回答ができ、その回答を他の職員も共有ができる。）

③災害時に有効
（停電時はナースコールが使えないのでインカムで連携できた。）

右記以外にも、コロナ禍においては集合朝礼・夕礼を中止し、インカムを利用して各部・各階に分かれて申し送りを行う事が出来ました。また当施設では朝礼の内容を踏まえてリスタ管理の観点から「今日一番リスタのある方に着目」し、注意点と具体的な対応内容をインカムで発信します。それを共有する事で全部署が着目者に意識し、沢山の目で利用者様を見守ることができるよう意識統一を心掛けています。

デメリット

イヤホンを耳に入れると痛いという職員がいましたが、耳に掛けるだけの対応（写真②）やポケット等で携帯し、音が聞こえたら耳を

近づけ周りには聞こえないように配慮しながら聞く対応（写真③）をする事で解決しました。また、当施設はインカムの取り仕切りは、看介護を第三者的に見る事ができるリハ職が担当し、着用の推進やインカムでの発信を積極的にを行っています。
大事な事は、インカムは便利である反面、インカムを持っているはずの人に呼び掛けた際、その人が聞こえていないだけで無駄になってしまう。その事を皆が理解することでインカムの必要性を実感しています。



写真①



写真②



写真③



見守りケアシステム

《秀眉園の紹介》 入所120床 内認知専門棟40床

秀眉園では離床センサー付きのベッドを現在、一部導入しております。以前はセンサーマットを使用しておりましたが、都度配線を行う必要があること。配線が多くベッドに巻き込んでしまうなどのトラブルが多く発生しておりました。また、設定等も複雑で設置に戸惑うスタッフもいました。そこで、ベッドに離床センサー機能があるものを使用することで、配線のトラブル、複雑な設定等が必要なくなりました。

メリット

①配線が簡単になり、かつ視覚的にわかりやすいリモコンでの初期設定が可能になり、取り扱いやすくなりました。詳細に設定ができ、感知の感度や感知のタイミングが設定でき、設定通りに感知してくれるので使いやすい。

②ナースコールの呼び出しもセンサーが反応したもののなか、ご利用者がコールを押しているものなかが着信音が違うことで識別がしやすくなりました。

③ベッド自体にセンサーがついている為、センサーマット等では利用者様の臥床時に違和感を感じる方がいたが、マット等を敷く必要がないので違和感を感じる事がなくなった等があります。

デメリットと対策

配線自体は簡単になったが、コード類が長い為、しっかりとまとめておかないとベッドの移動時などに巻き込み断線させてしまう可能性があります。設定を間違えてしまうとセンサーの感知が

止まらなくなってしまう等が上がつておりますが、デメリットについてはコードをまとめる等使い方を工夫すれば解決できることなので、大きなデメリットはあまり感じてはおりません。



今回はこの3つをピックアップしましたが、他にも有効なICT機器があると思います。その機器を「こんな機器があるので紹介したい」という施設様は当協会事務局にご連絡を頂けると嬉しいのです。また、千葉県のホームページ内の「千葉県介護ロボット導入支援事業費補助金の募集について令和4年度」の一番下に「補助実績」があり、千葉県の介護施設が補助金で購入した機器等実績報告がありますので、そちらをご覧頂き、購入検討資料としてご利用下さい。

研・修・会・報・告

千葉県老人保健施設協会社員総会開催

令和4年6月30日(木)、ホテルポータプラザちばにおいて、参加者数94名(うち委任状81名)の参加を以て、令和4年度第1回社員総会が開催されました。第1号議案(第3号議案まで、無事承認されました)。

総会終了後、管理者向けセミナーが開催されましたのでご報告いたします。

管理者向けセミナー

令和4年6月30日、ホテルポータプラザちばにおいて、18施設の管理者出席のもと、管理者向けセミナーが開催されました。

(株)ビーブリッド代表取締役竹下康平氏を講師にお迎えし「人材活用等に資するWEB・SNS活用術」というテーマで、ICTを活用した人材採用についてお話ししていただきました。令和の時代はSNSや求人採用特化サービス(Indeed等)の躍進により、従来の求人方法ではほぼ効果が出ない、そこで若年層をターゲットにSNSを活用し自社ホームページに誘導する。当然魅力的なホームページ、いわゆる「いけるホームページ」作りが重要になってくるということです。

SNSにはツイッター、フェイスブック、ライン、インスタグラム、

ティックトック等があり、それぞれに特徴があります。メリットとしては無料で情報を拡散でき、HPへの導線を作れること。デメリットとしては面倒くさい(陳腐化すると逆効果)、情報漏洩リスクなどが挙げられます。そのため投稿ルール等運用設計が大事ということでした。いくつか実際のホームページ動画も視聴させていただきました。大参考になりました。

今後は、様々な分野でのICTの活用、取り組みに関して、なのはなだよりでもご紹介していければと思っています。

基礎研修会

令和4年7月29日、26施設50名が参加し「老人保健施設における基礎研修会」がZoomで開催されました。

講師には介護老人保健施設フェルマータ船橋事務長、塩原貴子氏により新人職員として知っておくべき介護保険制度の仕組みや介護老人保健施設の理念と役割についてわかりやすく講義していただきました。

老健は、在宅復帰率、ベッド回転率など10項目の指標をもとに超強化型、在宅強化型、加算型、基本型、その他型の5つに区分されていることや、それぞれの職種が担う役割、そして多職種協働だからできる支援について具体的なお話も聞きました。

今回はZoom研修のため、新人同士の交流ができず少し残念でしたが、この研修で老健を理解し、ご自分の働いている施設がどの区分なのかを自覚したうえで、それぞれの施設でやりがいを見つけて活躍していただきたいと思います。



参加者の感想



エクセレントケア志津
看護職
伊地知ちはる

今回この研修会に参加させて頂き、介護保険の仕組みから在宅サービスと施設サービス、そして施設サービスに属する老健の役割、理念等の基礎知識を学ぶ事ができました。

その中で老健の役割として在宅復帰を目指す事が重要ですが、「看取り」に対する内容が特に考えさせられました。見極めが難しく、看護観、介護観、人生観等により考えは様々で多職種で関わっていく事が重要との事でした。当施設でも看取りを行っています。ご家族の考えを尊重し治療を選択する場合があります。ご本人様の事を思うと複雑な気持ちが生じてしまう現状です。しかし、この思いは自分の看護観や人生観が反映しており、という選択が正解かは今後も悩み続けたと思います。

老健は在宅復帰という前向きな概念がありますが、自分、又は家族がどこでどう死にたいのか、死に対しても前向きに考えられるようなサポートが少しでもできればいいと思いました。

最後に研修を通して、老健でも様々な強みを持った施設があり、今後色々な施設と関わりを持ちたいと思いました。

私が大事にしている事

浦安せいの里 浦安ベテルホーム 介護福祉士 富田 佑美

私は仕事をする上で大事にしている事が2つあります。それは、【笑顔】と【経験】です。

【笑顔】は人を幸せな気持ちにします。そしてそれと同じ位、自分の苛立ちや焦り・不安等も相手に影響を与えてしまいます。自分自身がご利用者や周りの人の笑顔を見ると元気が貰え、HAPPYな気持ちになれるので、その分私も少しでもHAPPYな気持ちを分けられる様に、仕事でもプライベートでもいつも笑顔でいる事を心掛けています。言葉を発さなくても、言語が異なっても、笑顔はみんなを幸せに出来る最強の武器だと思います。笑顔は連鎖します。これからも笑顔の輪が広がる様に、たくさん笑っていきましょうと思います。

【経験】は自分を強くします。

母になって、家族の大切さを実感しました。働く為に子供を保育園に預けたりする様になって、自分の家族を施設に預けるという気持ちを考えられる様になったり、家で祖母の介護をする様になって、自宅で自分の家族を介護する大変さや家族の気持ち（本音を身に染みて感じる事が出来

ました。こうした経験は、仕事をする上で私の強みとなっています。

他にも、色々な所に旅行に行く事や、SAP、ママさんバレー、スケボー、ゴルフなどやってみたいと思う事には積極的にチャレンジして見ます。チャレンジする事で、新たな出会いや発見があり、自分にはなかった考え方や発想にも触れる事が出来て自分自身の成長にも繋がります。こうした経験は自分を豊かにしてくれています。これからも常に何かに挑戦し、楽しみを見出して何歳になっても成長し続けたいと思います。

次はキックボクシングに挑戦しようと考えているところです。(笑)

これからもいっぱい笑って、色々な経験をしながら大好きなこの仕事を続けていきたいです。

そんな姿を見てるのは分りませんが、息子も将来は介護士になりたいと話してくれました。母ちゃん感動です。(涙)



福祉車両のプロフェッショナルにお任せください。



URL: <http://www.ingenious.co.jp>

TEL.048-263-9180 FAX.048-263-3452

～ 営業内容 ～

- ▶ 福祉車両の販売・リース
- ▶ 架装部のメンテナンス
- ▶ 車検・点検・修理・板金塗装
- ▶ 各種損害保険
- ▶ 福祉車両の代車・レンタカー



福祉車両のどんなことでも

インジニアス株式会社

〒333-0848 埼玉県川口市芝下1-14-23

サステナブルな社会へ



長年ご使用の歩行器が
新品同様に生まれ変わります！

生地の色・柄・厚みetc選べます。
出張作業も可能！1台から承れます！

価格 ¥13,000～
(出張費別途)

お気軽にご相談・お問い合わせ下さい

TEL. 0476-93-6665

E-mail. satotyyy@tbz.t-com.ne.jp

サトーコーポレーション

〒286-0201 千葉県富里市日吉台5-42-23

なののはな スマイル

明るく!

元気!

施設の笑顔をご紹介します!



■ ロータスケアセンター

当施設は超強化型の施設です。同敷地内に保育園を併設しており、0歳から100歳までワクワク・イキイキ・ニコニコをキャッチフレーズに、利用者様ひとり一人のニーズに応じた介護サービスを明るい家庭的な雰囲気をモットーに提供しています。

住 所：船橋市藤原5-23-1
電 話：047-439-6011
開設日：1998年11月20日
入 所：114名
通 所：30名

利用者様が笑顔で
過ごしていただけるよう、
日々業務に
励んでおります。



支援相談員
上村祥子



上段/①小椋 瞳(介護) ②藤田 靖人(介護) ③秋葉 彩奈(PT)
下段/④花山 侑里(OT) ⑤須崎 理枝子(看護)



■ フェルマータ船橋

当施設は船橋市にある超強化型老健施設です。利用者様の「自分らしい生活をしたい」という思いに寄り添い、専門職が協働し在宅復帰・支援に取り組んでおります。今年千葉県最高齢の女性として111歳を迎えられた利用者様も元気にリハビリに参加されております。

住 所：船橋市飯山満町1-822
電 話：047-425-5581
開設日：1998年7月17日
入 所：97名
通 所：32名×3回転(短時間)

コロナ禍でも
利用者様が笑顔で
在宅生活ができるように、
施設での生活リハビリを
支援しております。

左)介護福祉士:松戸 直也
右)利用者様:松本 ひろ様
(111才)



左)介護福祉士:星 洸平
中央)介護福祉士:松戸 直也
右)介護福祉士:清水 有理

老健ちばカレンダー

10月感染症研修会…基本、参加型で開催予定です。

12月研究事例発表大会…発表可能な施設がありましたら是非お願い致します。

9月予定の管理者研修会は

2023年2月に変更になりました。

● 編集後記

- 私が広報委員になって気が付けば今年で14年。こんなに長く「なののはなだより」に携わってこられたのは、楽しい委員会だからです。現在、広報委員は5人で頑張っています。どなたか一緒に参加してみませんか？情報交換できるし困ったときも相談できる仲間がいます。ご応募お待ちしております！(坂本)
- 今年も感染対策の夏があっという間に過ぎ去り、気が付いたら秋です。千葉県は、自然や味覚など秋も楽しめるスポットがたくさんありますね。個人的には、千葉県産のコシヒカリが大好きです。(白石)
- コロナがまだまだ続いており、地元新聞を毎日見ると必ずと言っていいほど人数が出ています。また今年はインフルエンザも流行りそうなので気が抜けません。施設のヤギも腰麻痺にかかり辛そうです。(神作)

- 電子カルテ！運用が当たり前の職場に15年以上勤務しています。運用開始時に50歳代の職員が苦勞していた姿を思い出しました。私も気づけば生誕半世紀です。触れた事のない、パソコン操作を習得するって、みんな偉かったなあと、この歳になって、しみじみと振り返っています。(若林)
- ICT機器のアンケート報告を終え、ICT機器検討前に他施設の経験談を聞いたとしても「ウチの施設では難しいだろう」と購入前に踏みとどまってしまう施設も多いと思います。これから購入にあたっては「機器に慣れる為の前向きな看介護職」と「失敗を恐れないチャレンジ精神のある管理運営側」の良いチームワークがあれば、更なる業務効率化へと進めるきっかけになると考えます。(福田)

